

# 板倉鼎・須美子書簡集



待望の『板倉鼎・須美子書簡集』  
ついに出版！

20代の若さで世を去ったエコール・ド・パリの画家、板倉鼎・須美子夫妻の短くも比類ない画業は、近年松戸市立博物館、目黒区美術館などの展覧会で紹介され、大きな反響を呼びました。ふたりが3年間のフランス留学中に書き綴った300余通の書簡を通じて、作品成立の背景——1920年代後半のパリに生きた画家たちの日々がよみがえります。

A5判・872頁 定価 4,300円 発行 松戸市教育委員会

監修  
編集

川崎キヌ子

(和洋女子大学名誉教授)

田中典子

(松戸市教育委員会社会教育課美術館準備室)

